

令和6年12月

## 「SRT (Smart Roadway Transit) の運行開始に向けた Smart 機能の構築及び効果検証手法の検討・導入業務委託」に係るプロポーザルの審査結果について

名古屋市は、「SRT (Smart Roadway Transit) の運行開始に向けた Smart 機能の構築及び効果検証手法の検討・導入業務委託」の契約候補者を選定するため公募型プロポーザルを実施しました。

本プロポーザルでは、企画提案書の内容を総合的に評価して契約候補者を決定しました。

審査の結果は以下のとおりです。

### 1 応募者数 4者

※段階的審査を実施し、上位3者に対してヒアリングを実施。

### 2 契約候補者

西日本電信電話株式会社 東海支店

### 3 ヒアリング各提案者の順位と点数

順位	提案者	点数
1	西日本電信電話株式会社 東海支店	237.4
2	大日本印刷株式会社 左内町営業部	221.0
3	SRT コンソーシアム団体グループ	200.2

#### 《契約候補者についての審査講評》

- ▶ SRT の意義を深く理解している。
- ▶ デジタルサイネージの活用方法が妥当。
- ▶ データの維持管理がやりやすそう。
- ▶ SRT 導入効果分析に関しては、体系的に整理されており、分析の意義を明確化している。
- ▶ Web サイトのアクセスログ、AIカメラ、Wi-Fi パケットセンサーや GPS データなどを活用して、SRT の利用実態を調査、分析した上で、回遊性の向上や賑わい

の拡大に繋げる提案が評価できる。確実に実行してもらいたい。

- ▶ 官民連携・市民共創を企画として挙げているので、しっかりと実施できるように期待したい。

#### 4 評価委員 ※五十音順 敬称略

- ・磯部 友彦（中部大学 工学部都市建設工学科 教授）
- ・浦田 真由（名古屋大学 情報学研究科 准教授）
- ・佐藤 久美（名古屋国際工科専門職大学 工科学部 教授）